

「原村・JOMOあゆみの森」における森林ボランティアの実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、5月15日と16日の両日、長野県諏訪郡原村にある「原村・JOMO あゆみの森」およびその近隣で、社員らが参加して森林ボランティアを実施しました。
2. 長野県では、二酸化炭素の吸収源となり、多様な生物を育む森林の健全な育成を図るため、2003年から「森林(もり)の里親促進事業」を推進しています。これは、長野県の仲介により、環境保全活動に取り組む企業と森林を保有する市町村が連携して森林整備に取り組むものです。
3. 当社は、上記趣旨に賛同し、2005年に原村との間で「森林の里親」契約を締結のうえ、同村の森林整備に協力しています。森林の里親として、森林整備のための資金を提供するほか、社員のボランティア等による整備活動を年3回程度行っています。本年4月からは「森林の里親」契約第2期がスタートしています。
4. 概要は次のとおりです。
 - (1)開催日 : 2010年5月15日(土)～5月16日(日)
 - (2)場所 : 長野県諏訪郡原村
 - (3)内容 : 「原村・JOMO あゆみの森」付近の除伐・下草刈り、遊歩道づくりなど
 - (4)参加者数 : 64名(役員・社員・家族等)
 - (5)その他 : 本年度1回目(通算16回目)の活動
5. 原村における森林整備活動により産出された間伐材につきましては、印刷用紙への国産間伐材の利用を促す仕組み「3.9ペーパー」により、当社が発行するCSRレポートや「童話の花束」(注)など、1年間で約80トンの印刷物に活用されています。
(注)「童話の花束」:当社が、毎年「心のふれあい」をテーマに一般の方からオリジナルの創作童話を募集し、優秀作品を選出のうえ、童話集として発行している冊子のこと。
6. 当社は、2008年度の本活動に関して、長野県から「森林の里親促進事業 CO₂吸収評価認証」を取得しています。

以上

【参考資料】

森林ボランティアの様相

